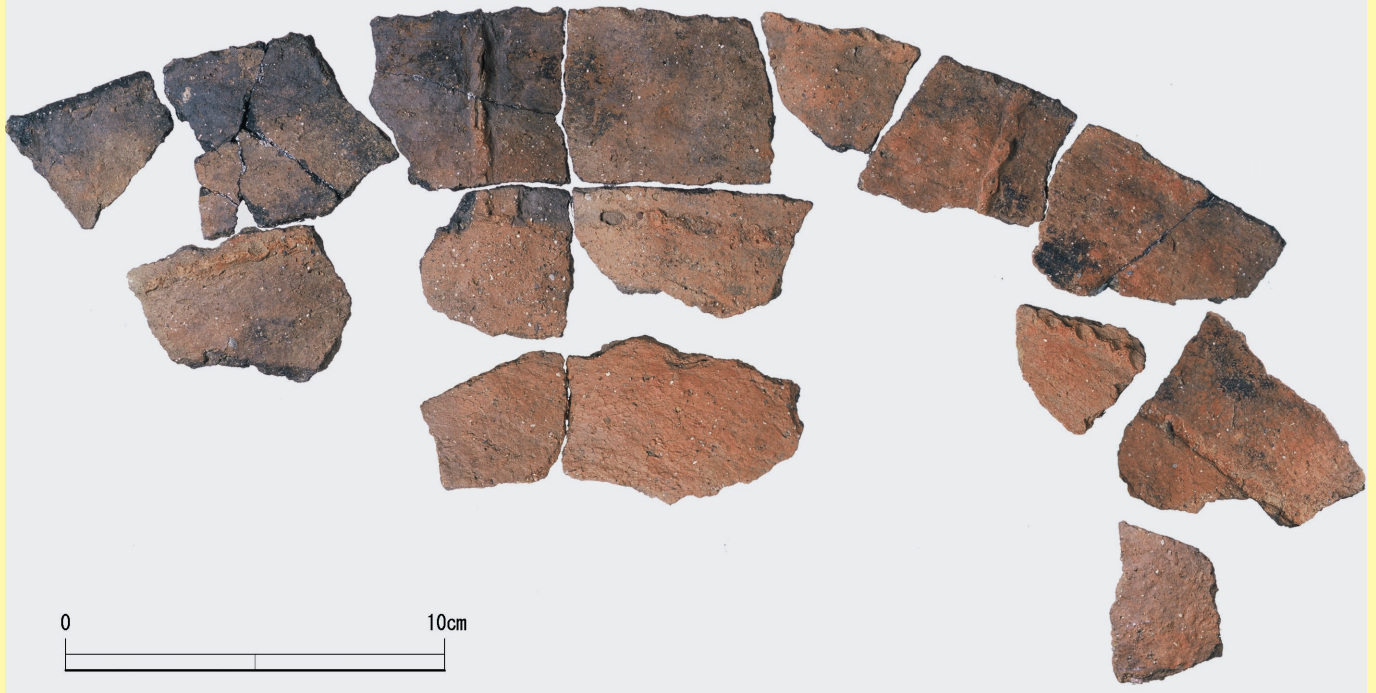


みすずかる

平成 15 年 12 月 24 日 発行



貫ノ木遺跡の隆起線文土器

15,500 年前の土器を発見

かんのき
貫ノ木遺跡 上水内郡信濃町野尻

国道 18 号野尻バイパスの建設に先立ち平成 11 年 (1999 年) に発掘調査が実施されました。昨年度から始まった整理作業で、作り方や文様の特徴から縄文時代の始め頃 (草創期) の土器とわかりました。さらに、土器の内面についていた「おこげ」と思われる炭化物の放射性炭素年代測定を実施し、約 15,500 年前 (較正年代) と推定されました。この年代は青森県おおだいやまもと大平山元 I 遺跡と並び、年代測定がおこなわれた土器では最も古く位置づけられます。

貫ノ木遺跡の土器は粘土紐を貼り付けて文様をつける「隆起線文土器」ですが、「無文土器」や別の「有文様土器」はさらに古いと考えられています。貫ノ木遺跡の土器の年代がわかったことにより、最初の土器の姿に大きく近づくことができた と評価されます。(谷調査研究員)

放射性炭素年代測定法

炭素 ^{12}C の同位体 ^{14}C が規則的に減少するのを利用して年代を計る方法。1990 年代に年輪年代測定法などとの誤差の補正がおこなわれるようになり、現在では補正された年代 (較正年代) が実年代とされている。

ふうじ
封地遺跡

南佐久郡八千穂村畑

封地遺跡は八千穂村の中心部、国道 141 号線の役場に近いところ
にあります。以前から土器や石^{せきぞく}鏃などが大量に採集される遺跡として
知られていましたが、この場所を村が宅地
として造成する計画を立てたため、事前に
発掘調査を行うことになりました。



遺跡の時代は縄文時代後期から晩期にあ
たり、発見された遺構は竪穴住居跡が 1 軒、
穴の跡が約 50 基とそれほど多くはありませ
んが、大量の土器のほか、数百点におよぶ
石鏃を中心とした石器が出土しました。ま
た、新聞等で報道された完全な石^{せつげん}剣や特殊
な土^{どくろ}偶もみつかっており、この時期の遺跡
の特徴をよく示しているといえるでしょう。

(田中調査研究員)



県埋蔵文化財センターでは、市町村教育委員会と連携し、「技術指導」として、遺跡の発掘
調査及び報告書刊行を支援しています。今年度は、今回紹介する 2 遺跡の他、望月町の^{ひらいし}平石
遺跡の調査にたずさわっています。長野県埋蔵文化財センターの技術が、各市町村の文化財
保護に対して貢献していくことも一つの役割と考えています。

ひがしばた
東畑遺跡

東筑摩郡坂北村仁熊

広葉樹が繁茂する山々に囲まれ、眼下には麻績川が大きく蛇行して流れていく、そして谷あ
いから遠く鹿島槍の頂が顔をみせる、そんな台地の上に縄文時代前期から後期（約 5,000 年
～ 3,500 年前）の集落が眠っていました。ほ場整備事業に先立つ調査
では竪穴住居跡 115 軒とともに、さまざまな遺物も出土しています。

ここでは 1 軒の住居跡（縄文時代中期）の調査例をみてみましょう。
直径 4m の円形に掘りくぼめた家の中心には石で囲んだ小さな^ろ炉がつ
くられ、壁際には柱を立てた深さ 40cm ほどの穴が 5 個ありました。
そのうち南側の穴の一つから、底を抜かれた土器が横
たわって見つかりました。また、竪穴が埋まる途中
ではたくさんの土器や石が投げ込まれていました。

調査で明かになるそれぞれの状況から、家を造り暮
らす様子、屋根を壊し柱を抜いて土器を納める姿、埋
もれ行く竪穴にさまざまな道具を捨てる場面が目に見
えられます。遺跡では毎日、数千年前の人間の生き
様が生々しくよみがえってきます。(柳澤調査研究員)



おとしあな

陥し穴の底に掘られた小穴

からまつ

唐松B遺跡

南佐久郡臼田町岩水

調査では縄文中期後半の集落跡のほか、集落が営まれる以前につくられたと思われる12基の陥し穴が見つかりました。陥し穴は獣を獲るために掘られたもので、尾根上を縦断もしくは横断するように規則的に並んでいました。なかには長さ2.8m、幅1.5m、深さ1.3mに達するものもありました。穴の底には落ちた獣が動けなくなるようにする木(逆茂木^{さかもぎ})を埋設した小さな穴がほぼ一列に並んでいます。すべての陥し穴を縦方向に切り落として断面を観察したところ、坑底ピットに1本の逆茂木を埋設するものが大半でしたが、若干大きめの穴では径5cmの木を複数埋設し、隙間にローム土を埋めて固定したものもありました(写真)。両者が混在している陥し穴もあり、今後は同時に掘られたものかどうかを検討していきたいと思えます。今まで南佐久地方ではこのような事例はなく、興味深い発見といえます。(河西調査研究員)



陥し穴のイラスト
「縄文社会の一万年」
imidas Special Issue
集英社より



逆茂木を埋設するために掘られた穴の断面



(写真1)

復元室の仕事

整理作業室の窓から

発掘された土器は、ほとんどの場合いくつものかけらになって土にまみれています(写真1)。その土器のかけらを水で洗い、よく乾かして、形や文様や色を手がかりにつなぎ合わせます。復元室ではこのつなぎ合わせる仕事をしてい



(写真2) 形状記憶樹脂で補強しながら組み立てていく



(写真3) 形状記憶樹脂の上にエポキシ樹脂を薄くていねいに入れる

あってもすりきれたりゆがんだりして、作られた昔の状態に近ずけるのは大変です。大事な文化財がより良い姿で長く保存されるように、埋蔵文化財センターでは樹脂を使って失われた部分をおぎなう、独自に開発した土器復元をしています(写真3)。この技術を身につけ、さらに高めるのはとても苦勞ですが、作業技術者の皆さんの熱心な取り組みによって年々向上しています。(徳永)

体験発掘

のびつけ
野火附遺跡（小諸市御影新田）



さる10月25日（土）午前10時から、野火附遺跡で小学生を対象として体験発掘を行いました。1年生～6年生までの子供たちに保護者をあわせて40名ほどが参加しました。

小学生たちは土器を掘り出すおもしろさや、土いじりの楽しさを、充分に感じていったようです。また、土器の接合では目を輝かせて、時間になってもなかなか離れようとしないうちもいました。当初ひかえめだった保護者の方（特にお母さん）も、「一度やってみたかったんです・・・」と言って、子どもたちと一緒に土器を掘り当てて大喜びだったようです。（寺内調査研究員）



私のところは、なかなか土器が出てきませんでしたが、弟が掘っていたところにはいろいろな破片が出てきていました。こんなに家の近くに遺跡を発掘しているところがあるなんて少しビックリしました。ここで、どんな人たちがどんなふうに生活していたのでしょうか。（岩村田小6年 須賀井彩香さん）

埋文告知板

重要文化財

「神子柴遺跡の石器群―石の時代の槍と斧―」

〔会場〕長野県立歴史館

〔日時〕平成15年1月10日（土）～2月29日（日）

休館日：月曜日（祝日・振り替え休日の場合火曜日）・祝日の翌日（日曜を除く）

長野県埋蔵文化財センター速報展

「長野県の遺跡発掘2003」

〔会場〕長野県立歴史館

〔期間〕平成16年3月13日（土）

～5月9日（日）

休館日：月曜日（祝日・振り替え休日の場合火曜日）・祝日の翌日（日曜を除く）

長野県埋蔵文化財センター

ホームページ開設のお知らせ

2004年4月いよいよ長野県埋蔵文化財センターのホームページが開設されます。遺跡情報満載！発掘調査速報もご覧いただく予定です。

それに先立って、10月より下記のアドレスで試験版を公開しました。ご意見ご感想をお寄せください。

<http://www.grn.janis.or.jp/~maibun/>

篠ノ井整理棟図書室の開放について

埋蔵文化財センター篠ノ井整理棟の図書室には、県内外の発掘調査報告書や考古学関係の書籍はもちろん、関連分野の本や雑誌など豊富に揃っています。利用時間は午前8時30分から午後5時まで、土・日曜日、祝祭日を除いて、いつでもご利用になれます。

野帳

長野県下いたるところでの発掘調査もほぼ終了し、遺物や実測図とともに整理作業へとその場を換えるとともに、「みすずかる」という素敵な題名をいただいて2号目となりました。「みすずかる」とは万葉集の「信濃」の枕詞です。「みすずかる信濃」の新たに掘り起こされた文化遺産を共有できる〈みすずかる〉をめざしています。（小林調査研究員）

（財）長野県文化振興事業団 長野県埋蔵文化財センター

篠ノ井整理棟（調査部）

〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田 963-4

TEL 026-293-5926・FAX 026-293-8157・E-mail maibun@grn.janis.or.jp

長野県立歴史館内（管理部）

〒387-0007 千曲市屋代清水 260-6

TEL 026-274-3891・FAX 026-274-3892・E-mail maibun@avis.ne.jp